



The Snow Peak Way

私達スノーピークは、一人一人の主体性が最も重要であると自覚し、
同じ目標を共有する真の信頼で力を合わせ、
自然指向のライフバリューを提案し実現するグローバルリーダーになろう。

私達は、常に進化し、革新を起こし、時代の流れを変えていきます。

私達は、自らもユーザーであるという立場で考え、
お互いが感動できる体験価値を提供します。

私達は、地球上の全てのものに良い影響を与えます。

outdoor lifestyle から outdoor life value へ。

1988年から今まで、スノーピークの社員一人ひとりが真北の方角へ向かうために最も大切にしてきたミッション“The Snow Peak Way”を改定しました。私たちの事業の目的は、自然指向の生き方を提案し実現すること。しかし時代の変化にともなって、ミッションの中のライフスタイルという言葉が自分たちの気持ちに合わなくなってきました。今私たちが提案しようとしているのは人生価値・ライフバリュー。人間性の回復、家族の幸福、友人や仲間とのつながり。これは正に人生の価値そのものです。ライフスタイルを提案するブランドから、人生価値を創造するブランドへ。新たな一歩を踏み出し続けるスノーピークにご期待ください。



第56期の連結業績は、おかげさまで過去最高の売上高、営業利益を達成することができました。これもひとえに、株主・投資家の皆様、弊社製品ユーザーの皆様、そして取引先企業の皆様方の日頃からのご支援の賜物と、役職員一同、心より感謝申し上げます。

私自身は昨年より、米国事業のスケールアップに取り組むため、オレゴン州ポートランドに軸足を移し、副社長以下経営陣を中心とした国内の体制強化を進めてまいりました。結果的に第56期は、グループ全体として更なる成長を遂げることができたと考えており、将来を見据え、社長を引き継ぐ決断をいたしました。私は引き続き代表取締役会長として、グループ全体の経営を牽引してまいります。今後ともご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社スノーピーク 代表取締役会長

山井 太



このたび、代表取締役社長という大任を拝命いたしまして、大変光栄に思っております。2012年、スノーピークに入社してからは、アパレル事業を立ち上げ、近年は新規事業を含む企画開発の責任者として、また、昨年からは副社長として、現会長及び経営陣と連携しながら、グループ全体の成長を推進してまいりました。

今後は会長の支援もいただきながら、経営陣との連携を一層強固にし、更なる発展に貢献すべく尽力してまいります。スノーピークは2019年12月、30年以上大切に掲げてきたミッションステートメントを改定し、より多くの人々の人生価値を高める事業を創造すべく、新たな一歩を踏み出しました。更に高みを目指していくスノーピークにますますご期待いただけますとともに、今後ともご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社スノーピーク 代表取締役社長

山井 梨沙

Growth Strategy
成長戦略

テクノロジーの進化とともに高まる
「人間性の回復」への潜在的ニーズ

文明が進み、生活が便利になることと引き換えに、私たちは人が本来持っていた野生の感覚や人と人のつながりといった「人間性」を失っています。こうした中、現代社会で失われつつある「自然と人、人と人のつながり」といった、私たちが提供する根源的な価値である「人間性の回復」は、今後世界中でさらに強く、求められていくものと考えています。

より多くの人に、より多くの野遊びを
「海外展開の強化」と「体験事業の強化」

スノーピークは、こうした根源的なニーズに対応すべく、「より多くの人に、より多くの野遊びを」提供していきます。「より多くの人」に展開するために、販売チャネルの拡大を行っていくことに加え、欧米、アジアを中心に事業拡大を図っていきます。また、「野遊びを通じた体験価値」提供していくために、非キャンパーをターゲットとした旅行、研修、地方創生等、幅広い体験事業に取り組んでまいります。

人生に、野遊びを。



より多くの
人生に

客数
(顧客の数)

野遊びによる
体験価値を

客単価
(生涯価値)

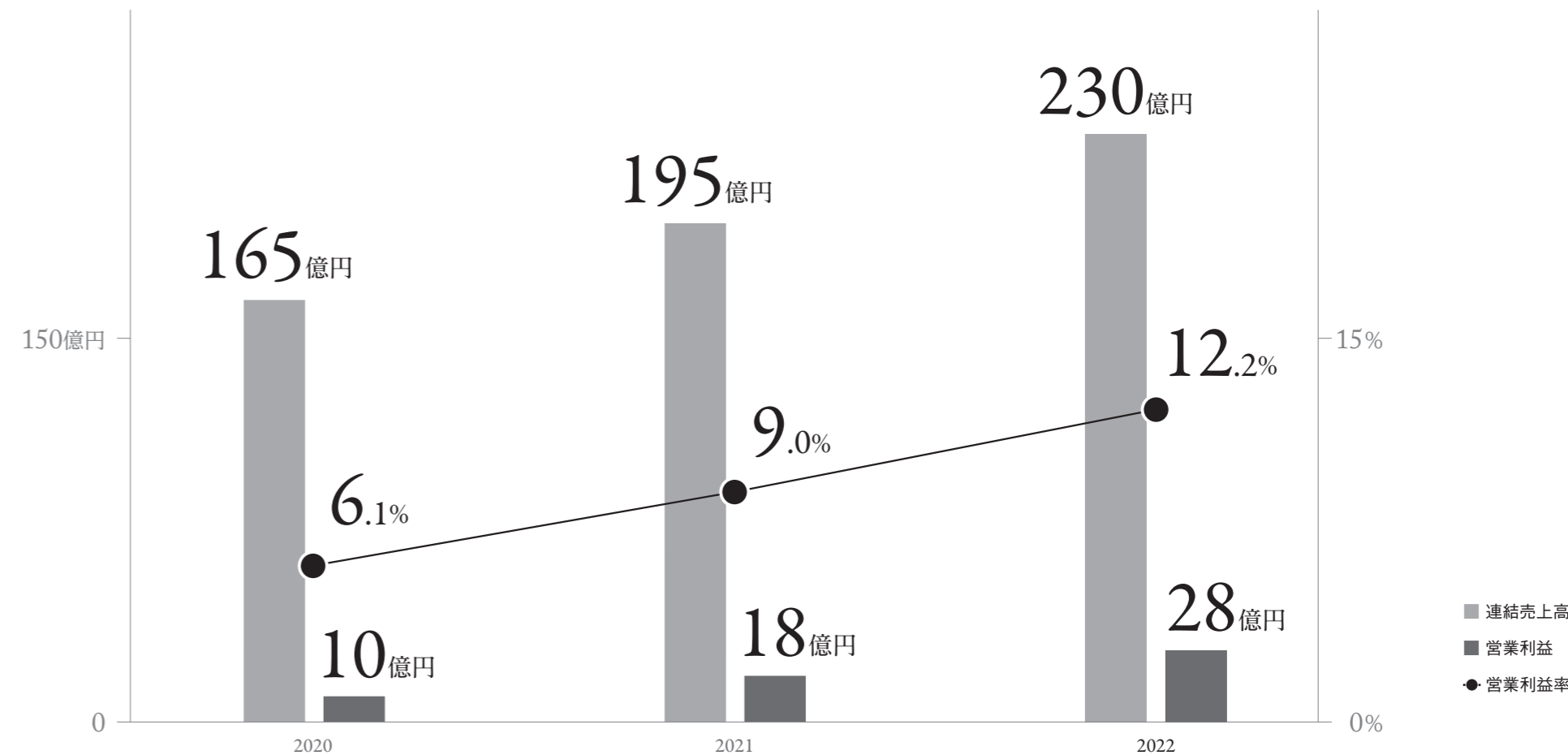


Medium-term Plan

中期経営計画 業績目標

社会的需要を背景に、多様な事業機会が増加しています。

長期的なブランド力、収益力の強化を目指し、事業、インフラへの投資を継続していくことで、更なる成長を目指してまいります。



Overseas expansion

海外展開の強化



欧州

2018年11月、欧州事業を推進する子会社Snow Peak London, Ltd.を設立。2019年9月には、欧州市場に向けたECサイトの開設、10月にロンドンの中心地に旗艦店をオープンし、本格的に事業展開を開始しました。環境意識の高まる欧州にて、永久保証付きのハイクオリティな製品とものづくりへの思想が高い評価を得ています。



アジア

韓国は子会社Snow Peak Korea, Inc.での事業に加え、韓国でスポーツ・アパレル事業を展開する株式会社VIRTUALTEKと資本業務提携を締結。アパレルを中心に、韓国市場向けの商品開発、販売を行います。販売は百貨店中心に出店を加速し、2020年内に70店舗を展開予定です。



国内外にてブランドを可視化する施策を連動して展開していくことで、更なる相乗効果を狙い、積極的なグローバル展開を進めてまいります。



日本

2020年春、長野県・白馬、東京都・原宿、京都府・嵐山といった海外観光客へのリーチが期待される土地に、物販に加え、レストラン、宿泊、カフェ等を併設した体験型の戦略拠点を開設します。東京で行われる国際スポーツイベント等を見据えたインバウンドの拡大に備え、体験価値を通じた認知拡大、ブランディングの強化を図ってまいります。



北米

これまで支店として卸売を中心に事業展開を行ってきた北米は、2019年7月、事業を推進する子会社「Snow Peak USA, Inc.」を設立。2020年夏には北米エリアのHeadquarter機能となる戦略拠点をオレゴン州、ポートランドに開設するほか、米国の大手アウトドア専門量販店との連携も強化し、直販／卸売両面で、北米事業を拡大してまいります。



Snow Peak Experience

体験事業の拡大

スノーピークが30年以上にわたり培ってきたキャンパーとしての体験を、すべての人へ。

キャンプをしたことがない人にこそ求められている、人間性を回復するという

体験価値の提供を拡大してまいります。

手ぶらCAMP / 手ぶらBBQ

「手ぶらCAMP」は、スノーピーク直営キャンプフィールドと提携キャンプ場で、スノーピークオリジナルのキャンプ体験が気軽に楽しめるプラン。食材や着替えなど身の周りのものだけをご用意いただければ、キャンプ道具はすべてお貸出し、スタッフが全面的にサポートします。また2019年夏からは、スノーピークHeadquartersキャンプフィールドにて「手ぶらBBQ」プランを開始。雨の日でもBBQができるシェルターに食材や備品一式をセットにし、レストランに行くように気軽にBBQが楽しめます。

キャンプイベント

1998年から続くスノーピークのシンボリックなイベント「Snow Peak Way」は、各店舗スタッフや各部門スタッフなどすべての社員が一人のキャンパーとして参加し、ユーザーの皆様と焚火を囲みながら本音で語り合う、日本各地で開催されるスノーピークで最も人気の高いイベントです。

さらに、キャンプ入門者を対象とした「Starter Camp」は、テントの建て方や火の熾し方、必要な道具など、初めてのキャンプの様々な不安や疑問をスタッフがその場で解消していくイベントです。

グランピング

神奈川県横須賀市「snow peak glamping京急観音崎」に続き、2019年5月、新潟県阿賀野市に「snow peak glamping swanlake ikarashitei garden」が開業。さらに2019年7月、世界有数のスキーリゾート白馬・八方尾根の中でも最もダイナミックな絶景が広がる標高1,200mの北尾根高原に、グランピング施設「Snow Peak FIELD SUITE HAKUBA KITAONE KOGEN」が開業しました。春、夏、秋の白馬の圧倒的な大自然と豊かな食材を堪能できる、唯一無二のアウトドア体験に出会える施設です。

キャンピングオフィス

人と人をつなぐスノーピークのキャンピングビジネスに取り入れ、クリエイティブな発想や円滑なコミュニケーションを生み出すサービス。大自然から都心部の緑地、オフィスの中で様々な空間にキャンピングを感じるワークプレイスを提供しながら、導入コンサルティングやファシリテーション、研修までもサポート。仲間の意外な本音が飛び出す、いつもと違う大胆なアイデアが浮かぶなど、体験後の評価も非常に高く、既に全国で500社を超える企業が体験しています。

「Snow Peak Experience」をぜひ体験してください。現在受付中のイベントや過去のイベントレポートをご覧ください。

<https://www.snowpeak.co.jp/experience/>



岡山県犬島にて開催したのは、その土地ならではの食材や食文化に触れることで、今まで知らなかったその土地の風土や生活を体験する旅。アート作品「犬島 ぐらしの植物園」にて、地元の食材を北欧のトップシェフが目の前で料理するプレミアムディナーが振舞われました。



新潟県、佐渡島で開催したのは、土地に根づいた労働と作業着の関係を追体験する旅。佐渡文化の象徴でもある能舞台のかたわらにテントを建て、日本初の世界農業遺産となった佐渡食材のBBQと、満天の星の下での焚火を楽しむ。海を見渡す絶景の棚田では、春は田植え、秋は収穫を体験します。



岩手県北上市で開催したのは、およそ5,000年前、縄文時代の姿を今に残す樺山遺跡(かばやまいせき)への旅。縄文時代は、自然とともに暮らし、衣食住のすべてを自分たちの手で生み出していた人間の暮らしの「原点」。そんな縄文のライフスタイルを、縄文遺跡で実際にキャンプをしながら学び体験します。

岩手県一関市で開催したのは、次世代へと受け継がれる、地域の担い手たちの熱い想いと地域の伝統、文化を体感する旅。地域の祭りへの参加や、100年以上にわたって伝統芸能や祭りの衣装を手掛ける京屋染物店の工房を訪れ、染色、縫製風景を見学、染物体験もしながら大切に継承されてきた技術を学びます。



新潟県長岡市・栃尾で開催したのは、LOCAL WEARをはじめ、スノーピークアパレルのアイテムを複数手掛けている染色・織物工場を訪ね、土地に根づいた労働と作業着の関係を追体験する旅。この地でなければ生み出せない色や風合い。一着のLOCAL WEARが誕生するまでの物語を辿ります。



地域の文化に触れる希少体験を提供

非キャンパーも気軽に自然に親しむことができ、人とのつながりや、まだ見ぬ地域の暮らし・文化に出会える特別な体験を提供するツアー。2019年は全国5か所で実施しています。

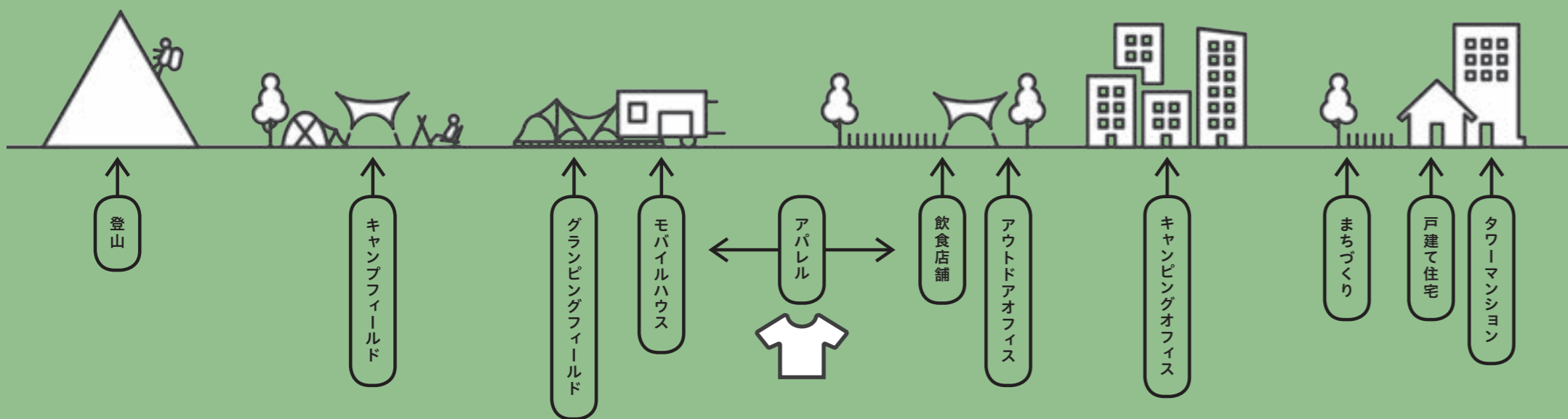
LOCAL WEAR TOURISM

「着る」が「生きる」になる旅。をテーマに、新潟県佐渡島と見附・栃尾、岩手県一関で実施したキャンプツアー。その土地の風土や技法をリスペクトしたアパレルライン「LOCAL WEAR」から生まれた。手ぶらで参加できる手軽さと、その土地と深くつながる体験は、参加者から大きな評判を得ています。

LOCAL LIFE TOURISM

土地の風土に深く根をおろす体験ができるキャンプツアー。岩手県北上にある縄文時代の樺山遺跡では、伝統芸能「鹿踊り」を鑑賞したり、縄文時代の食を体験。岡山県犬島ではアート作品「犬島 ぐらしの植物園」にて、地元の食材を堪能。その土地の人々と語りながら、その土地ならではの人間の営みを追体験していきます。

当社の事業領域

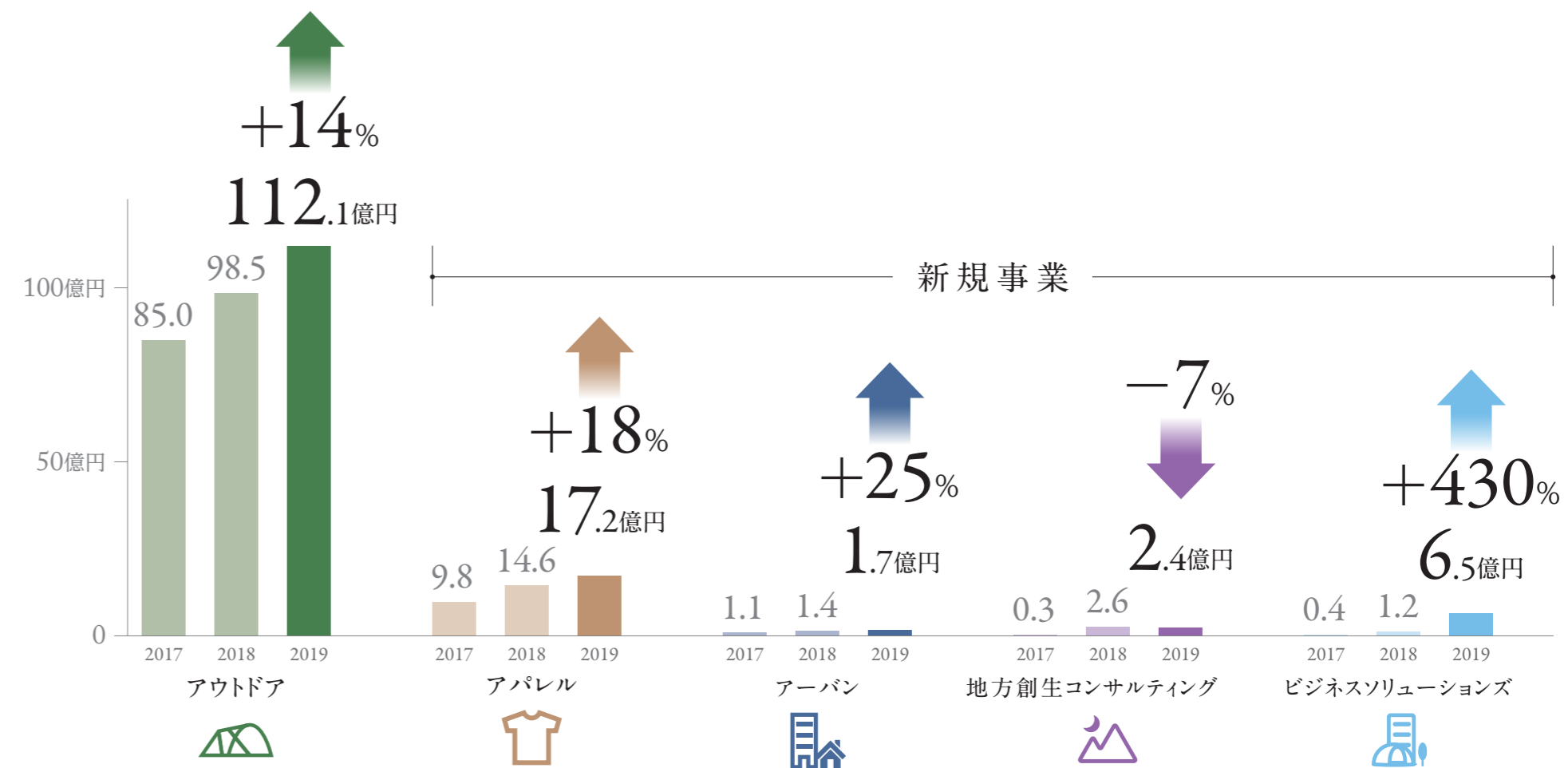


Home ⇄ Camp

大都市から大自然、日常と非日常。あらゆるシーンで自然と人をつなぐ。

事業別売上高

2019年12月期は、アウトドア事業の継続的な成長に加え、アパレル事業をはじめ各新規事業も順調に成長し、新規事業の売上高構成比は19.2%まで拡大いたしました。引き続き、新たなマーケット創造に向け新規事業の拡大を推進していきます。



※HEARTIS社合併による事業増加分含む

各事業の状況

アウトドア事業

エントリー製品好調、新規顧客獲得に貢献

オートキャンプ製品を中心にハイエンドなアウトドア製品の開発・製造・販売を展開しております。2019年は前年に引き続き、エントリー顧客向け製品の販売が好調。さらに、2019年7月に発売した「HOME & CAMPバーナー」が2019年度グッドデザイン100に選出され、7月～12月までの半期で4.5万台販売するなど、新規顧客獲得に大きく寄与しました。また、2018年11月に国内200店舗以上をオープンしたエントリーストアは、専有売場を確保したことで販売が進み、エントリー顧客を中心とした販路拡大につながりました。引き続き、新規ユーザーの獲得を目指すとともに、ロイヤルカスタマー顧客の比率も拡大してまいります。



アパレル事業

商品ラインナップ拡充、認知拡大により更なる成長

「都市と自然を行き来する服」をコンセプトに、自然の中で着ても十分な機能性を備えつつ、都市生活においても、快適な着心地とデザイン性を備えたアパレルとして展開しております。

難燃素材を使い定番商品として人気の高い「TAKIBIシリーズ」のラインナップを拡充したことに加え、アウトドア製品と融合したVMDも強化し、クロスセルを推し進めてまいりました。昨年は「ニューバランス」をはじめ、有名ブランドとのコラボレーション商品開発のほか、直営店での取り扱い商品もさらに拡充したことで認知拡大とともに、売上も順調に拡大しました。



アーバンアウトドア事業

住居向け新製品等により提携工務店での販売拡大

アーバンアウトドア事業は、スノーピークの世界観を住環境に広げていくことを目的としております。都会にいても身近に自然を感じることのできる住まいや暮らしの提案を、工務店やディベロッパ等と連携し行っており、工務店のショールーム内でのショップ展開や大規模マンション、分譲住宅における野遊び空間の提案等により着実に実績を上げております。

2019年は、住居向け製品「アーバンシェード」の2019年限定カラー発売等により提携工務店での販売も拡大。東京・晴海のタワーマンションや、山形でのまちづくりプロジェクト等、参画した大規模案件も引き渡しやまちづくりなど、順調に進捗しています。



キャンピングオフィス事業

体制を強化し、働き方改革を背景に拡大するニーズに対応

キャンピングオフィス事業は、自然環境でのアウトドア体験を織り交ぜた研修、アウトドア要素を取り入れたオフィスの提案を展開しております。

2019年1月、株式会社ハーティシステムアンドコンサルティングを完全子会社化し、同年3月同社と、株式会社スノーピークビジネスソリューションズを合併させ、体制を強化。「キャンピングオフィス」は「2019年度グッドデザイン賞ベスト100」にも選出され、企業が抱える働き方改革、組織のコミュニケーション活性化等の課題を背景に、拡大するニーズに対応し、売上の更なる成長に繋げてまいります。



地方創生事業

12の自治体と包括連携協定を締結

アウトドアの知見を活かし、全国各地が持つ自然資源の魅力を磨き上げ、発信するコンサルティングに加え、イベント、キャンプ場再生等、幅広い取り組みを実施しております。

2019年は4月に高知県土佐清水市に「スノーピーク土佐清水キャンプフィールド」を開設したほか、6月には同じく高知県の越知町に新業態「スノーピークかわの駅おち」を開業。さらに地域との連携強化も進めており、包括連携協定は、長野県白馬村(2019年1月)、山口県下関市(2019年9月)と新たに締結。12自治体に達しました。また、株式会社スノーピーク地方創生コンサルティングは10月に新たな役員体制とし、全国各地の店舗スタッフを起点とした地域活性化を推進してまいります。



グランピング事業

「Snow Peak FIELD SUITE HAKUBA KITAONE KOGEN」が開業

グランピング事業は、自然豊かな場所で、旬の食材や温泉をはじめとするその土地ならではの自然の恵みを堪能していただく空間演出を行っております。ホテルや温泉旅館、リゾート施設に対して当社が考える本物のグランピングを提案しております。通常の野遊びと視点を変えて、今後、その季節に合った快適で最も美しいサービスを提供することを目的に事業を続けてまいります。

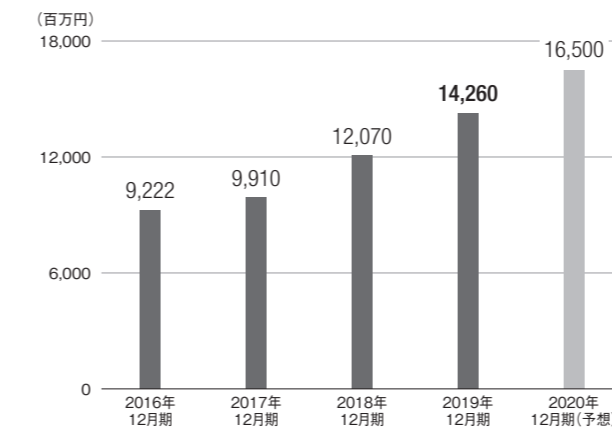
2019年は、5月、新潟県阿賀野市に「snow peak glamping swanlake ikarashitei garden」が開業。さらに7月には、長野県、白馬・八方尾根に「Snow Peak FIELD SUITE HAKUBA KITAONE KOGEN」が開業。その時、その場所でしか味わえない特別な体験を提供しています。



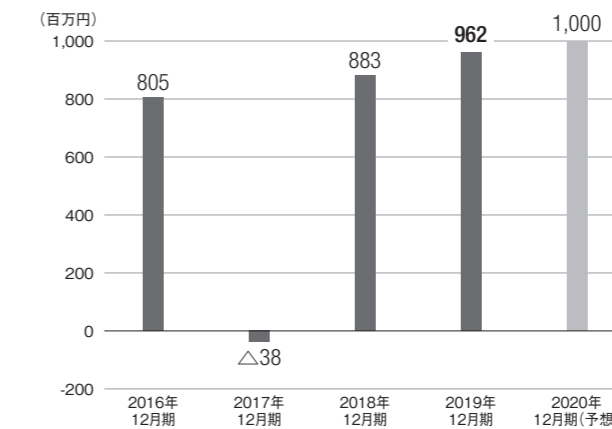
Performance

業績ハイライト

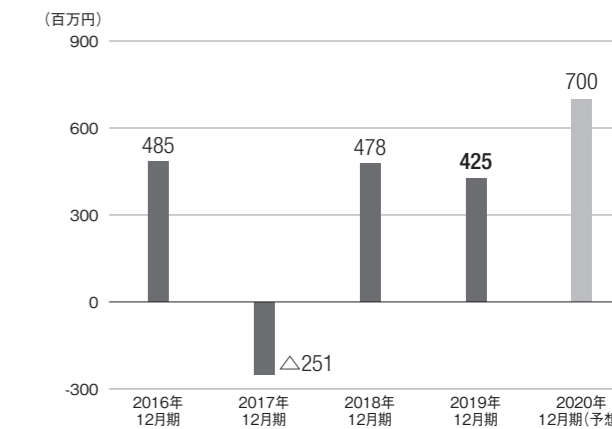
売上高



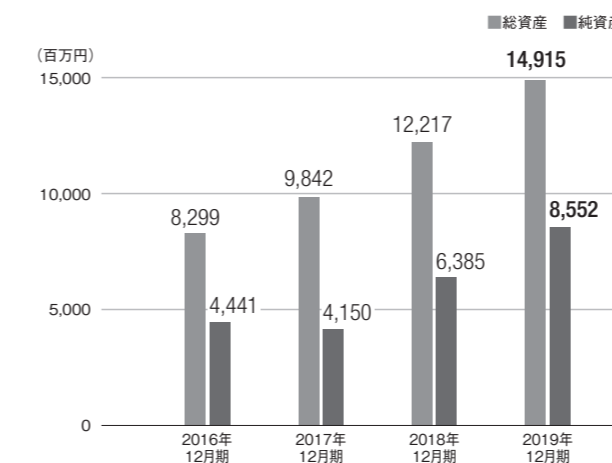
経常利益／損失



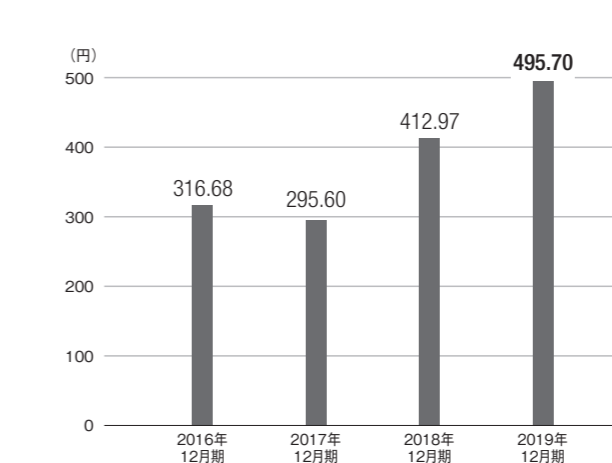
親会社株主に帰属する当期純利益／損失



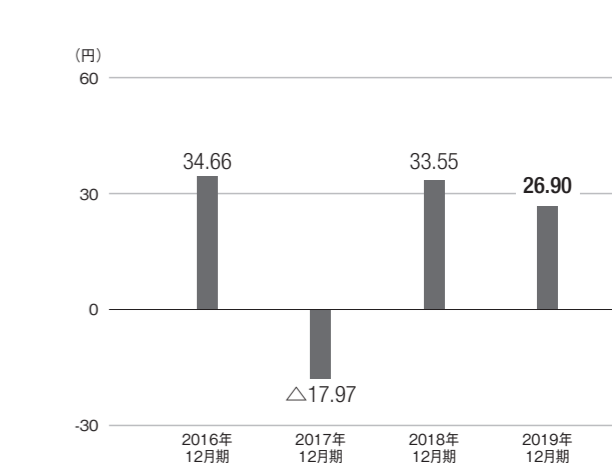
総資産額・純資産額



1株当たり純資産額*



1株当たり当期純利益／損失金額*



*当社は、2017年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行いました。2016年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益／損失金額を算定しております。

持続可能な社会のために

スノーピークの製品は、厳しい自然環境の中でも耐えうる高い品質に加え、30年以上前から、すべての製品を永久保証とし、愛着をもって、長く、大切にモノを使っていたことで、自然環境に配慮した事業を行ってきました。「地球上のすべてのものにより影響を与える」ために、様々な取り組みを進めています。

受け継がれるものづくりの精神

独自の高い品質基準

スノーピークの製品は、フィールドで確実に機能し長期間にわたって使い込んでもいただけるよう、独自の品質基準に基づきデザインされています。



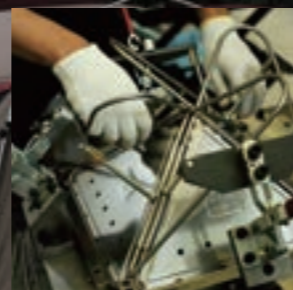
自信があるから、すべて永久保証

製品には一切の保証書をお付けしていません。それは、メーカーが自社の製品の品質に責任を持つのは当然であると考えているからです。



キャンパー目線のアフターサービス

「思い出が詰まった道具を長く使っていただきたい」「次のキャンプの予定に間に合わせたい」。常にキャンパー目線で、責任をもって修理をいたします。



環境活動への参画

人も自然の一部であることを常に念頭に、自然保護に貢献できる活動に積極的に取り組んでいます。



コンサベーションアライアンス

コンサベーション・アライアンス・ジャパンは、参画するアウトドア関連企業各社から集めた基金を、アウトドアフィールドの保護のために活動している団体に活動資金の援助として提供することで、環境保護に貢献しています。



グリーンダウンプロジェクト

一般社団法人Green Down Projectは、将来にわたり多くの生活者へ安定的な羽毛製品の供給を続けていくために、日本国内で羽毛を循環させる仕組みを確立し、その普及を目指しています。スノーピークでは店頭でのダウン製品回収やリサイクルダウンを採用した商品ラインナップを展開しています。



フォレストック

スノーピークのポイントカード会員様がテントやタープ、シェルターの現行モデルをご購入していただくと、売上の一部にて、一般社団法人フォレストック協会を通じCO₂吸収量クレジットを取得し、日本の森林を守ることに寄与するプログラムを展開しています。



国立公園オフィシャルパートナーシップ

スノーピークは2018年、パートナーシップ契約を締結し、国立公園内でのグランピング実施など、高付加価値かつ環境負荷の少ない宿泊の提供などを通じて、国立公園の認知度向上に協力しています。

服から服へ、テントから服へ

日本環境設計と取り組む「Snow Peak Recycle Project」

再生繊維の開発・製造等の事業を通じて、循環型社会の実現に取り組む日本環境設計。スノーピークは2018年7月、日本環境設計が目指す「地下資源を消費する社会から、地上資源を循環利用する社会へ」というビジョンに共鳴し出資を行うとともに、製品の共同開発に着手。2019年5月には初の共同開発商品、Snow Peak「BRING T-shirt」を発売し、国内の直営店にてリサイクル衣料品の回収も開始しました。

さらに2019年10月、「Snow Peak Recycle Project」と題して新たなプロジェクトをスタート。島精機製作所の編み機「ホールガーメント®」を本社屋に導入し、スノーピークにて回収したアパレルを、日本環境設計の工場で再び糸に戻し、その糸を使用したニット製品の自社製造を開始しました。製品が編み上がる過程をオープンファクトリーとして公開し、リサイクルの循環を体感いただくことで、より多くの方が活動を身近に感じ、参画いただくことを目指しています。

今回の取り組みにて、「リサイクル衣料の回収」「再生工場での生成」「再生糸でのアパレル製造」「販売」という一連のサイクルを構築。「服から服へ」という持続可能なものづくりを推進する体制が整いました。さらに今後は「テントから服へ」という、テント、タープ類から服へのリサイクルという将来的な商品開発に向けて検討を進めてまいります。



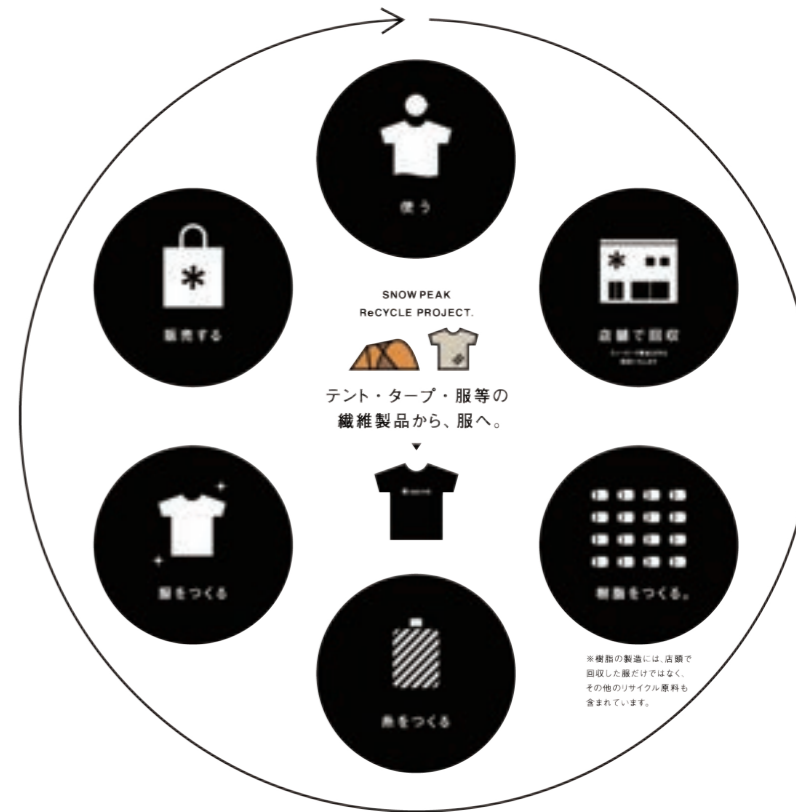
リサイクル素材を用いた魅力的な商品開発を

日本環境設計株式会社 取締役会長 岩元美智彦氏

環境活動は楽しくないと伝播しません。多くの方々に循環型社会を楽しんでもらい、みんながリサイクルに参加することで自分ゴト化し、リサイクルの知識、意識がさらに高まっています。そして一番大事なのは、メーカーがリサイクル素材を用いて素敵な商品を作ることです。サステナブルな社会の実現に向け、スノーピークには今後も魅力的な商品をどんどん生み出していただくことを期待しています。



日本環境設計株式会社：リサイクルしたい企業と消費者をつなげる活動や、再生繊維の開発・製造、リサイクルコンサルティング等の事業を通じて、循環型社会の実現に取り組む。



株主還元

株主還元の基本方針

当社は、短期的な業績に連動させるのではなく、長期的な観点から安定的・継続的に配当を維持することを基本方針としております。現在、当社ビジネスは成長局面にあるため、利益処分につきましては、株主還元と投資活動に備えた内部留保のバランスを取っていく方針であります。

	2017年実績	2018年実績	2019年実績	2020年見込み
中間	0円	0円	0円	0円
期末	12.5円	12.5円	12.5円	12.5円
年間計	12.5円	12.5円	12.5円	12.5円

※ 2017年12月1日付で1株につき、2株の株式分割を行っております。なお、1株当たりの配当額については、当該株式分割調整後の数値を記載しています。

株主優待

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期にわたり株式を保有していただくこと、また多くの皆様に当社事業へのご理解を深めていただくことを目的として株主優待制度を導入しております。

優待クーポンのご進呈

優待クーポンを利用すると、当社商品等を販売価格から15%割引いたお値段でお買い上げいただくことができます。今年度よりご利用の範囲の見直しを行い、当社製品のほか、当社直営キャンプフィールドにて提供しているサービスにもご利用いただけるように変更いたしました。また、優待クーポンを直営店店頭および郵送による申込書にてご利用いただいておりますが、優待クーポンの利便性の向上を図るため、直営店店頭およびECサイトをご利用いただけるよう変更いたしました。



所有株数	優待内容
100株以上300株未満	優待券1枚
300株以上1,000株未満	優待券2枚
1,000株以上	優待券3枚

※ 当社株式を1年以上継続して保有された株主様が対象



会社概要 (2019年12月31日現在)

会社概要

会社名

株式会社スノーピーク

英語表記

Snow Peak, Inc.

創業

1958年7月

設立

1964年1月

資本金

21億5,452万円

従業員数

452人(連結)※臨時従業員を除く

事業内容

アウトドア製品の開発・製造・販売
アパレル製品の開発・製造・販売

取締役 (2019年3月27日現在)

代表取締役 会長	山井 太
代表取締役 社長	山井 梨沙
代表取締役 副社長	高井 文寛
取締役	リース能亜
取締役	後藤 健市
取締役	村瀬 亮
社外取締役(監査等委員)	田辺 進二
社外取締役(監査等委員)	高橋 一夫
社外取締役(監査等委員)(新任)	若槻 良宏

事業所・グループ会社

国内拠点

Headquarters(新潟県三条市)
Operation Core HQ2(新潟県見附市)
Tokyo HQ3(東京都渋谷区)

国内子会社・グループ会社

株式会社スノーピークウェル(新潟県見附市)
株式会社スノーピークビジネスソリューションズ(愛知県岡崎市)
株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング(新潟県三条市)
株式会社スノーピーク白馬(長野県北安曇郡白馬村)
株式会社デスティネーション十勝(北海道帯広市)

海外拠点・子会社

Snow Peak Korea, Inc.(韓国ソウル特別市)
Snow Peak Taiwan Branch(台湾台北市)※台湾オフィス
Snow Peak USA, Inc.(米国オレゴン州ポートランド)
Snow Peak London, Limited.(英国ロンドン)

キャンプフィールド

スノーピークHeadquartersキャンプフィールド(新潟県三条市)
スノーピーク箕面キャンプフィールド(大阪府箕面市)
スノーピーク奥日田キャンプフィールド(大分県日田市)
スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールド(北海道帯広市)
スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド(高知県高岡郡越知町)
スノーピーク土佐清水キャンプフィールド(高知県土佐清水市)
スノーピークかわの駅おち(高知県高岡郡越知町)



スノーピーク本社

決算メモ

事業年度

1月1日から12月31日まで

定時株主総会

3月

期末配当金受領株主確定日

12月31日

1単元の株式数

100株

証券コード

7816

上場証券取引所

東証一部

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

公告方法

電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。



< All Snow Peak Camp 2019 >

2019年7月、スノーピーク Headquarters キャンプフィールドには、国内外から社員が集まり、キャンプをしながら、焚火を囲み、Snow Peakらしさとは、その先にどんな未来を描くべきか、そのためにどう行動するかを語り合いました。こうして深く議論した末に、いくつかの言葉を書き直し、新しい“The Snow Peak Way”が紡ぎ直されました。

